

学 部

本学における外国語教育について

本学では、グローバル社会で活躍できる人物の育成をめざし、第1学年と第2学年において必修科目として外国語科目の受講を全員に課しています。外国語を修得することによって、

- ①異文化に触れ、幅広いものの見方を身につける
- ②専門の学問研究のため、基礎的学力を身につける

ことができるようになります。

なお、入学する学部によって、外国語科目の履修単位数と「入学手続き類回答フォーム」において回答すべき内容が異なりますので、下記の内容をしっかりと確認してください。

<履修単位数>

科目名称		履修 学年	文学部	社会学部	教育学部		国際学部
					教育学科 初等教育 コース	教育学科 幼児教育 コース	
外国語Ⅰ	英語Ⅰ	第1 学年	4単位 【必修】	4単位 【必修】	4単位 【必修】		4単位 【必修】
	初修外国語Ⅰ		4単位 【必修】	0単位以上 【履修可能】	0単位以上 【履修可能】		4単位 【必修】
外国語Ⅱ	英語Ⅱ	第2 学年	4単位 【どちらか必修】	4単位 【必修】	4単位 【必修】	－ 【履修不可】	4単位 【どちらか必修】
	初修外国語Ⅱ			0単位以上 【履修可能】	0単位以上 【履修可能】	－ 【履修不可】	

※文学部・国際学部…第1学年時は、英語Ⅰ・初修外国語Ⅰのどちらも履修が必要。第2学年時は、英語Ⅱ・初修外国語Ⅱのいずれか一方を選択して履修。

※社会学部・教育学部教育学科初等教育コース…第1・2学年時のどちらも英語Ⅰ・Ⅱのみ履修が必要。ただし、入学前に希望した者については、初修外国語Ⅰ・Ⅱの履修も可能（履修しなくても卒業可能です。ただし、修得した単位は、卒業単位に含まれます）。

※教育学部教育学科幼児教育コース…第1学年時に英語Ⅰのみ履修が必要。ただし、入学前に希望した者については、初修外国語Ⅰに限り履修可能（履修しなくても卒業可能です。ただし、修得した単位は、卒業単位に含まれます）。

※外国語Ⅰ・Ⅱともに、全てクラス指定される科目となります。

<回答内容(外国語関係)>

○＝全員回答が必要、－＝回答不要

回答内容	文学部	社会学部	教育学部	国際学部
I. 英語再入門クラス希望	○ *1	○ *1	－	○ *1
II. 初修外国語	○	○ *2	○ *2	○

*1 文学部・社会学部・国際学部…「英語再入門クラス」の履修希望有無を回答してください。

*2 社会学部・教育学部…「初修外国語」の履修を希望する方は希望語学を選択し、履修を希望しない方は「5:希望しない」を選択してください(「初修外国語」を履修しなくても卒業可能です)。

(1) 「英語」について

① 英語プレースメント(クラス分け)テストについて

第1学年の「英語Ⅰ」では、授業を効果的に行うため、習熟度に応じたクラス編成を行っています。クラス編成は、プレースメント(クラス分け)テストの結果をもとに行います。

プレースメント(クラス分け)テストは、オンライン受験で実施します。受験方法の詳細は、3月初旬に入学手続きサイトで案内します。受験しなければ第1学年必修「英語Ⅰ」のクラス配当が行われず、授業を受講することができなくなりますので、必ず受験してください。

② 再入門クラスについて【文学部・社会学部・国際学部は全員回答、教育学部は回答不要】

文学部・社会学部・国際学部は、第1学年の「英語Ⅰ」クラスの中に、基礎的な内容を重点的に学ぶ「再入門クラス」を開設しています。「再入門クラス」では、個別指導を中心とした授業を行います。希望する方は、入学手続き書類回答フォーム【文学部・国際学部】【社会学部】の「I. 英語再入門クラス希望」において、「再入門クラスを希望する」を選択してください。また、希望しない方は「再入門クラスを希望しない」を選択してください。なお、再入門クラスの希望有無に関わらず、英語プレースメント(クラス分け)テストは必ず受験します。

希望者多数の場合は、抽選により受講者を決定します。抽選から漏れた場合は、習熟度に応じたクラスに配当しますので、あらかじめご了承ください。

なお、教育学部では、「再入門クラス」の設置はありません。

(2) 「初修外国語」の届出について

【全員回答】

① 本学では、初修外国語としてドイツ語、フランス語、中国語、韓国・朝鮮語を開講しています。文学部・国際学部は、第1学年においていずれか一つを選んで履修することになっています。社会学部・教育学部は、入学前に希望した者のみ履修することが可能です。詳細は以下のとおりです。

<文学部・国際学部>

- ・ 第1学年時は全員が、選択した初修外国語Ⅰを履修します。
- ・ 第2学年時は、英語重点型と初修外国語重点型のどちらかを選択します。
英語重点型を選択した場合は英語Ⅱを(この場合初修外国語Ⅱは履修できません)、初修外国語重点型を選択した場合は初修外国語Ⅱを(この場合英語Ⅱは履修できません)履修します。
- ・ 初修外国語重点型を選択した場合、履修できる語学は入学前に申請した(第1学年時に履修した)語学となります。

<社会学部・教育学部>

- ・ 社会学部・教育学部において、**初修外国語の履修は必修ではありません**。ただし、入学前に希望した者のみ第1学年時・第2学年時ともに履修することが可能です(教育学部教育学科幼児教育コースは、第1学年時のみ)。
- ・ 第1学年で初修外国語Ⅰを履修した学生のみ、第2学年のクラスを履修することが可能となります(第1学年で履修を希望していない学生が、第2学年から履修し始めることは一切できません)。また、第1学年のみで初修外国語の履修を終えることも可能です。
- ・ 第2学年で初修外国語Ⅱを履修する場合、履修できる語学は入学前に申請した(第1学年時に履修した)語学となります。

② 入学の手续に際しては、以下の「初修外国語の選択について」を熟読のうえ、入学手続書類回答フォームの「初修外国語」において、希望する初修外国語(1:ドイツ語 2:フランス語 3:中国語 4:韓国・朝鮮語)のいずれかを選択してください(**社会学部・教育学部の方で初修外国語の履修を希望しない方は、「5:希望しない」を選択してください**)。

いったん選択した後の**変更・取消は、入学前・後に関わらず一切できません**ので慎重に選択してください。

③ 外国語科目は、上記に説明した科目(クラス指定がなされるもの)以外にも、選択外国語として、**検定対策、留学向け等目的別の科目を開講しています**。これらの科目は、入学前の申請は不要、また初修外国語として選択した言語以外にも履修可能であり、全学部において、入学後に自身の目的や興味・関心に応じて自由に履修することが可能です。

—— 初修外国語の選択について ——

本学では、学習すべき外国語を英語と初修外国語(ドイツ語、フランス語、中国語、韓国・朝鮮語)とに分けています。

英語はすでに中学・高校で学習されている既修外国語で、主としてイギリス・アメリカ・オーストラリアなどで話されている地域の言葉という面があると同時に、他方では、事実上世界の共通語のもっとも有力なものという面をもっています。この二つの理由から、本学では、第1学年時には全員が英語を履修することになっています。

英語以外に学べる初修外国語として開講されているのは、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国・朝鮮語の四つです。学んだことのない言葉を学ぶことで、スキルや知識が増えるだけでなく、異文化への理解が深まり、世界で行ってみたい国や言葉を交わせる相手も増えます。ぜひ積極的に挑戦し、自分の世界を広げてみましょう。

みなさんが初修外国語を選択するための指針ないしは留意点を次に挙げておきます。

① 自分が学習したいと思う言葉を選ぶ。

初修外国語は新入生のみなさんにとって、はじめて出会う言語であるはずで、言語は世界への扉であり、自分の価値観や経験を広げてくれます。外国語を学習して成長した自分をイメージしながら、純粹に自分にとって関心のある外国語はなにかを考えてみましょう。外国語を学ぶことのできる機会を十分に活かしてください。

② 第2学年以降のコースとの関連で選ぶ。

コース・ゼミ選択後の学習や研究において、履修しておくに役立つ語学を各学科で推奨しています(下記の表)。語学選択時の参考にしてください。また、各自の研究計画に合わせて語学選択をすることも重要です。たとえば、フランス文化や文学を研究したい人は「フランス語」の履修が望ましいというように、各自の研究と関係する言語が何であるか検討してください。その際には直接的な関係性だけでなく、広い視野にたってみることも必要です。たとえば、現代社会の問題を考える際には「中国語」が、東アジアの歴史を考える際に「韓国・朝鮮語」が役に立つことがあります。

以上、これら二項目に留意し、初修外国語を選択するとよいでしょう。

下記の表は、各学科の学習内容を理解するために、学科として推奨する初修外国語を示したものです。参考にしてください。なお、選択を強制するものではありませんので、最終的には自分の興味・関心に応じて選択してください。

それぞれの言語の特徴や学習方法等の詳細は、本学ホームページから参照できます。

＜大谷大学ホームページ＞「キャンパスライフ」→「学習支援」→「履修登録・定期試験」→ 外国語学習の手引き

(https://www.otani.ac.jp/study_support/nab3mq0000001164.html)

【学科が推奨する初修外国語】

学部	学 科	コース	推奨する初修外国語
文学部	真宗学科	思想探究	いずれの語学でも可
		現代臨床	
		国際	
	仏教学科	仏教思想	いずれの語学でも可
		現代仏教	*国際的知見を培うために、初修外国語には積極的に取り組んでもらいたい。
	哲学科	哲学・西洋思想	ドイツ語、フランス語
		心理学・人間関係学	*専門科目(外国語で書かれた哲学書を読む科目)の履修のために必要になるので、ドイツ語またはフランス語を選択すること。
		倫理学・公共哲学	
		宗教学・死生学	
	歴史学科	日本史	いずれの語学でも可 *自分が将来学んでみたいテーマや地域を考慮し、関連性の高い言語を選択するとよいでしょう。
		世界史	
		歴史ミュージアム	
		京都探究	
	文学科	日本文学	いずれの語学でも可
		現代文芸	*但し、中国文学を学ぶうえでは中国語の選択が望ましい。
国際学部	国際文化学科	英語コミュニケーション	いずれの語学でも可
		欧米文化	英米文化:いずれの語学でも可 ドイツ、フランス文化:ドイツ語、フランス語
		アジア文化	中国、韓国・朝鮮文化:中国語、韓国・朝鮮語
		*ただし、志望分野に関わる言語の既修者はいずれの語学でも可。なお、2年次のコース選択時に、各ゼミの受入状況によっては初修外国語(変更不可)と異なる地域文化を専攻することも可能。	